

学習指導要領	都立江北高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>論説や評論を読んで、対比や言い換えなどの関係や段落の構成をとらえ、それぞれの働きや関係をとらえることができる。</p> <p>小説において、場面や人物の設定と展開を把握し内容を理解することができる。</p>
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、書き手の意図を理解したり、人物、情景、心情の描写などを正しくとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を十分に感じ取り、味わうことができる。</p>
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>文章を読んで、人間、社会自然について考察しながら、自分の考えを明確にすることができる。</p>
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>目的や課題に応じて、収集した情報の価値判断をして資料を作成し、論拠に基づいて自分の考えを述べるることができる。</p>
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>語句の意味、用法について主要な事柄を理解し、文体の特色や表現方法、語句の意味・用法を的確に理解し、また用いることができる。</p>

## 令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第3学年A組～H組)

科目担当者：(A組:宮原(印))(B組:熊川(印))(C組:中野(印))(D組:中野(印))(E組:宇野(印)宮原(印))(F組:宇野(印))(G組:宇野(印))(H組:熊川(印))

教科・科目の指導目標	近代以降の様々な文章を精読し、1. 2年で身についた論旨や主題を読み取る力の更なる深化を目指す。理解したことを的確に表現する力をつける。互いに考えを述べあい、協力して課題を解決することで、自己表現力を高める。社会生活及び大学受験に必要な読解力、漢字力、語彙力を育成する。
------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	①漢検レベル4、5級程度の漢字については基本的な力を持っている。 ②小説における行動やセリフの意図する内容や心情については、基本的な力はある。評論文では、平易なものについてなら自分なりの意見を持ち、問題意識を持って読むことができるようになった。	①論理的思考力を身に着けるために、継続的に語彙を増やすこと。接続詞や副詞に注意しながら、精読を繰り返し正確の読みとる力を身に着けさせる。 ②漢字や語彙について習熟すると同時に、文脈での意味を読み取れるような小テストを行う。センター入試形式を意識した問題、また、記述問題にも対応できる問題演習を行う。 ③文章の要約等、掴んだ内容を正確に記述できる能力をつける。	①入試問題演習形式の授業も取り入れる。 ②漢字テストで、読みと意味を確認しながら語彙を増やしていく。 ③演習結果の提出・添削をとおして正確に記述できる力をつける。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			